

テーマ1 学校での活動を通して思うこと

～田川高校ボランティア部活動に参加して

○参加と交流を通じて

- ・寿の児童館で子どもと遊ぶボランティアをしています。とても元気で、かわいい子ども達なので、やりがいがあってとても楽しくできています。
- ・寿の子ども達が元気。
- ・子ども達は素直に感じた。
- ・ボランティアに参加すると人と人のつながりが広がる。
- ・自分がボランティアに参加しなければ会わない人たち、知らない人たちと交流を深めることができる良い経験になりました。
- ・1班の学生さんは全員（5名）松本出身だったので驚いた。塩尻、松本が半々くらいかなと思っていたが。
- ・ゴミ拾いなど裏の仕事がたくさんして大変だが、その分達成感がある。

○ゴミ拾いボランティアで

- ・ゴミ拾いや運動会の運営などの企画にはそれを支えてくれる人がいることを知ったし、その立場に立てたのは自分にとって良い体験にできました。
- ・19号沿線のゴミはどうにかならないか。（エコウォークで）
- ・ゴミを拾って快い気持ちになれる。

○イベントを通じて

- ・短歌フォーラムでは、短歌についてご指導をいただけていい機会になった。
- ・玄蕃祭りでは玄蕃の由来を調べてみよう。

テーマ2 住みたい街とは

～故郷塩尻（松本）に”帰る”動機について 田川高校生徒として考える

○交通通学環境が良いこと

- ・電車のアクセスをもっと良くしてほしい。

○街に魅力を

- ・遊ぶところが多く笑顔溢れる町。
- ・若者が遊べる場所をもっとほしい。

- ・スポーツの施設が多い街。
- ・お祭りが多い街。
- ・松本にまけない魅力がある街。
- 子供・高齢者が住みよい町を。
 - ・子ども達が安心して生活できる街。
 - ・高齢者が元気で生活できる町に。
 - ・高齢者が安心して暮らせる街。
- その他
 - ・大きな地震など災害に対して手厚い対策がある街。
 - ・たくさん学んで故郷に帰ること。

テーマ3 18歳選挙権と政治参加について

- 不安がある
 - ・政治について何もわからないので選挙に行ってもしょうがないと、少し思っている。
 - ・若者の声が政治に届いても、より世間を知っている上の世代の方が主張の方がより良いものじゃないかと不安。
 - ・選挙には必ず行くようにするが、誰に投票するか、何を基準にすべきか分からない。
- 政治、選挙を知る機会があれば
 - ・小中高と選挙に対してしっかり学習した分、関心は高い。→やらないと関心が低い。
 - ・候補者全員のことを知る機会が欲しいです。どこか建物に全員で集まって質疑応答する場をつくれば全員の候補者の思いを知った上で投票できると思いました。
 - ・政治はみなさんの生活に大きく関係している。関心を持って。
 - ・自分で考えをしっかりと反映できるように投票を早めからして政治に積極的に参加していきたい。
- まずボランティアで選挙に参加を
 - ・ボランティア部で選挙事務には是非参加して下さい。

テーマ1 学校での活動を通して思うこと

- エコウォークに参加し、市内がとてもきれいなのに驚いた。
- 短歌フォーラムに参加したが、参加者が少ないと思った。
- 桔梗小で行われたスポレクに参加した。中学生の参加や、競技に参加する人が少ない。⇒マンネリ化しているか。
- 児童館にボランティアで参加している。勉強教えたり一緒に遊んだりしている。
- 行事にはあまり参加していない。参加したくても、行事の日程や行事の内容もわからない。⇒観光協会のポスターを掲示したらどうか。

テーマ2 住みたい街とは

- 子どもを安心して育てられる、預けられる環境がほしい。
- 行事に参加する人が多い活気のある街がいい。いったん市外に出ても、地元に帰ってきてほしい。自分も街づくりに関わりたい。
- 県外に進学することを考えている。交通が便利であることが条件。電車での移動時間が問題。
- 県外に進学したい。希望する学部（薬学）がない。
- 本県は交通の便が悪い。就職先が多いほうがいい。
- 治安のいいところがいい。用事が自分の街の中で済む方がいい。涼しくてよいが何も無い。

テーマ3 18歳選挙権と政治参加について

- 選挙権があるといっても、政党の内容がわからない。
- 政治の内容がわからない。何をもって投票するのかわからない。
⇒市町村議員はつながりで投票するが、高校生ではつながりが少ないので選択に困るか。
- 政治に興味がない。無駄な票にならないよう内容を知っていききたい。権利は行使しなければならない。
- あと2年あるので、しっかり考えていきたい。
⇒公募制度で議員の劣化が起きている。
- せつかく与えられた権利だからよく考えて投票したい。
- 市議になった理由は？
⇒困った人を助ける。人のために役立ちたい。

テーマ1 学校での活動を通して思うこと

- ・地域活動に参加してみて、結構参加の機会も多く、地域の人が優しく受け入れてくれた。
- ・小学生が元気であったが、参加者は少なめであった。
- ・エコウォークでは参加する若者が少ない。
- ・文化祭では、地元を含め一般の参加が少ない。

(要望)

- ・えんぱーくはあるが、体育系で気軽に使える体育館がほしい、自慢できる体育系の施設がほしい。
- ・広丘地区でも、大きな祭り（イベント）をやったらどうだろう。
- ・田川高校には、他校にはないボランティア部があること自身、誇りであり素晴らしいことである。

テーマ2 住みたい街とは

- ・（全般）：自然を残して行ってほしい。
- ・（観光）：県内に就職したい。県外、遠方からの観光客がくる「何か」が必要だ。
- ・松本城のように、他の地域に誇れるようなPRできるようなものがない気がする。「地域振興バス」を活かした観光ルートづくりをしてみたら。
- ・（進学）：行きたい大学や専門学校がない。
：県外に進学しても地元に戻りたくなる仕事や環境がない。
- ・（生活）：犯罪が少ないところはよい。
：電車やバスの本数を増やしてほしい。
：若者が楽しめる場所があんまりない。

テーマ3 18歳選挙権と政治参加について

- ・選挙の候補者自身が若い人にメリットのあるマニフェストを掲げれば政治や選挙に興味をもってくれるはず。
- ・若者層が投票したくなるような選挙になれば10代20代の投票率は上がる。

テーマ1 学校での活動を通して思うこと

○塩尻市のイベント（短歌フォーラム、ハロウィン等）に参加して

- ・まちの人が優しかった。 ⇒ 温かなまちで良いと思った。
- ・地域の人参加が多い。
- ・裏方の人のやることが多い。 ⇒ 大変さがよく分かった。
勉強になった。

○地域行事に参加して

- ・若年層の参加率が低い。
- ・開催があまり知られていない。 ⇒ もっと広報が必要ではないか。

○ボランティア活動に参加して。

- ・子ども達と一緒に弁当を作った。 ⇒ 再度の要望があった。
- ・福祉施設でのお祭りでは、ボランティアが多く積極的に行われていると感じた。

○児童館活動に参加して

- ・子どもたちはいつも元気で、たくましいと感じた。

○学校の文化祭について

- ・一般の方が大勢来てくれてうれしかった。

テーマ2 住みたい街とは

○地域の交流場所などが整備された街

- ・一人暮らしは不安がある、地域での交流の場があれば安心できる。

○交通手段が整備された街

- ・高齢者の移動手段として必要。
- ・特に土日の移動手段として必要。
- ・ある程度の便数の多さが必要。

○スポーツ施設の整備された街

- ・近くで使える施設の整備が必要。
- ・コミュニケーションの場としても必要。

○生活の利便性が確保された街

- ・スーパーなど生活に必要な店舗が近隣にあれば都合がよい。
- ・人口が増加している地域から、既存のスーパーが遠い。
- ・ゴミ袋の値段が市町村によって異なるので統一してほしい。

○安全性が確保された街

- ・国道など主要道路から離れると、街路灯が暗かったり、無い所がある

テーマ3 18歳選挙権と政治参加について

- 自分の意思表示のために行くべき。
- 投票に行くことで、自分がどんな政治を望んでいるのか意思表示できる。
- 国民の義務であり、義務は果たすべき
- 自分の住んでいるところを良くするためには、意見をちゃんと出した方がいい。
- 知識も経験も少ない18歳は、まだ選挙権は早いと思う。
- 一票の価値が軽くなってしまう。
- あまり実感がないが、若い世代が行かないと何も変わらない。
- 政治のことはテレビの中だけで他人ごとを感じるが、自分の住むまちの環境のことには意思表示した方がいい。

その他

- 一旦、市外・県外に出ても地元に戻りたい理由は何か
 - ・知っている土地の方が安心できる。
 - ・気候が体に合っている。
 - ・自然が多く、人のつながりが深い。
 - ・地域をよく知っているから。
 - ・自分の街を良くしたいから。